

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 5 年 2 月 21 日



豊中ロータリークラブ

第 2965 例会

第 2560 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度
国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ
(Windsor-Roseland RC)



2022.7~2023.6

会 長 都井正剛
副 会 長 武枝敏之
幹 事 岩本洋子
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日 (2 月 21 日) のプログラム

「時代が変われば眼科も変わる」

卓話担当 : 佐川正治

次週 (2 月 28 日) のプログラム

「職業奉仕月間 (1 月) に因んで」

職業奉仕委員長 : 村司辰朗

☆会長の時間☆

「2 月定例理事会報告」

2022-23 年度 会長 都井正剛

3 月 7 日にガバナー補佐が訪問されます。その日にはクラブ協議会もあります。子供食堂支援の中間報告がありました。2023~2024 年度組織表と行事予定表の案が提案されました。長谷工コーポレーションの船橋輝夫さんからの入会申し込みがあり、吉川先生、狩野先生、南さんの退会申し込みもありました。狩野先生については後任が決まりにくいという話から阪大他学部への働きかけの提案もされました。1 月末締め切りの会計表に関して、地区への送金のこと、R 財団個人寄付、米山特別寄付を会計表に加えるかどうかの話がありました。

ロータリー入会金廃止について理事会で決めるのではなく議決が必要との注意もなされました。



四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場 : 〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時 : 毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局 : 10 時~16 時 (土日祝を除く)

H P アドレス : www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス : jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2964回	第2961回
例会日	2月7日	1月7日
① 会員数	34	34
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	26	26
③ 出席義務者出席数	19	14
④ 出席免除者出席数	4	6
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	7	12
出席率 %	76.67%	68.75%

出席率(2964回) ③+④/②+④ 出席率(2961回) ③+④+⑤/②+④

幹事報告

・国際ロータリー第2660地区より

【ロータリーロゴ 適正使用へのご協力のお願ひ】が届きました。

「2023-24年度のための地区研修・協議会のご案内」が届きました。

「2023年国際大会 大阪地区ナイトの案内」が届きました。

【緊急支援】トルコ南部大地震 義援金のお願ひが届きました。

掲示板

・職業奉仕フォーラム

日時：2023年2月28日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会場

・PETS

日時：2023年3月4日(土) 13:30~17:30
場所：大阪国際会議場 12階

・第二回ガバナー補佐訪問

日時：2023年3月7日(火) 例会時
場所：ホテルアイボリー 例会場

・クラブ協議会

日時：2023年3月7日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー かやの間

・第9回定例理事会

日時：2023年3月14日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会場前

・国際ロータリーIM第1組ロータリーデー

日時：2023年3月18日(土)
12:10受付 12:40開会式
場所：ザ・リッツ・カールトン大阪

♡2月7日のニコニコ箱報告♡

- ・皆出席祝いを頂いて 松山会員
- ・誕生日祝いを頂いて 中井、松山、今川各会員
- ・結婚記念日祝いを頂いて 中井会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて 矢口、宮田、狩野各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 武枝会員
- ・明けましておめでとうございます。南会員
- ・欠席のお詫び 松本悟会員
- ・写真を頂いて 村司、米田、矢野、矢口、松山、武枝、眞下、原、藤田各会員

下記シンポジウムに皆様のご参加をお願い致します。
2023-24年度ガバナー補佐 武枝敏之

100歳まで元気で暮らすための糖尿病と変形性関節症対策

豊中ロータリークラブ・中之島ロータリークラブ
朝日カルチャーセンター連携シンポジウム

前半40分講演予定

「健康寿命を延ばすには」

豊中市民病院元院長・日本糖尿病学会認定専門医

松山辰男

100年前の日本人の平均寿命は男42歳、女43歳でしたが、2021年には、男81歳、女87歳を超え、ほぼ2倍になっています。しかし、健康寿命とは10歳の差があるといわれ、いかに健康寿命を平均寿命に近づけるかが社会的課題になっています。一方で平均寿命を超えてなお、仕事をしている人も、この頃は珍しいことではありません。83歳でまだフルタイムで仕事をしている人が、まだ道半ばで、これから先はどうか分かりませんが、とりあえずの通過地点に来てみて、今までどう生きてきたかお話しして、どうすれば良いかを考えてみたいと思います。

後半35分講演予定

「手術をしない膝と股の変形性関節症の新治療法。」

鎮痛剤入りヒアルロン酸と再生医療」

戸田整形リウマチ科クリニック院長 戸田 佳孝先生

厚生省によると変形性膝関節症の人口は自覚症状のある人が約1,000万人、いつ痛みが出てもおかしくない人は約3,000万人と報告しています。変形性股関節症は120~150万人だと言われていて、多くの整形外科医は手術治療を研究していますが、多くの患者さんは手術を望んでいません。私は長年手術をしない治療法を研究してきました。

日時 4月13日 木曜日 16:00~17:30

受講料 会員 3,080円 一般 3,410円

★オンラインでの受講はHPからお申込みください。

<http://www.osaka-nakanoshima-rc.org>

朝日カルチャーセンター中之島教室

大阪市中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー18階

電話:06-622-5222

「マインドコントロール・洗脳」

卓話担当：豊島了雄



昨今、取りざたされています、ある宗教団体の話の中で「マインドコントロール・洗脳」といった言葉が出てきます。

今回は、この「マインドコントロール・洗脳」を宗教観にてお話をさせて頂きたく思います。洗脳とマインドコントロールは同じもののように考えられますが実は全く違うものなのです。

洗脳：虐待や拷問、薬物、その他暴力手段を使って相手を支配すること。

マインドコントロール：他人を思いのままに操ること、日本語に直すと「心の制御」ということで、誰かが目的を達成するために、他人を動かすということで、当然の行為であり、スポーツ界であれば評価される行為であります。ただ、マインドコントロールにはネガティブなニュアンスがふくまれます。

外的要因と内的要因と言えるかもしれません。

今回の宗教団体の問題は、やはりマインドコントロールが主だと考えられます。

しかしながら、宗教界においてはこのマインドコントロールは、必要不可欠なものと言っても良いのかもしれませんが。「信心」という言葉は皆さんもよく耳にする言葉です。

「信心」真の心＝加護（神仏が慈悲の力を加えて助け守る事）を願って神仏（神仏の教え）を信じること。

すなわち、神仏の教えを信じることによって自分を守ってもらう、何か利益（りやく）があることを望むことです。

一番簡単な例が、人間死んだらどうなるの？という疑問です。科学的・物理的に答えがあるのならば、それに従わずにはいられないわけですが、ここが宗教的に面白いところです。「極楽地獄は紙一重、全てが人の胸の内」、人間すべてが極楽往生を望みます。しかし、極楽も地獄も本当にあるものなのかわかりません。全てが本人の気持ち次第なのです。

それでは、何をよりどころにして生きていくのか、それが神仏加護を望むことなのです。

宗教的マインドコントロール、いかに神仏の加護を説きそれによって心の安心を得られるのか、ここが私の一生の課題なのかもしれません。

今回の事件性の高い事項に対し、安易に「マインドコントロール・洗脳」という言葉を使うのは、問題なのかもかもしれません。

手段手法が少し違う方向に向いていたことも重要な事柄だと思います。

